

国土舘大学寺内教授、狛江市、当会合同喜多見駅周辺事故状況確認

(当日メモ)

日時： 令和2年11月2日(月)14:00-15:00

担当； 国土舘大学公共交通専門 寺内義典教授

参加者：利光、上中、田中、肥後、辻村、津江、中塚、栗山

◆国土舘大学公共交通専門 寺内義典教授（談）

場所：喜多見駅周辺

1 喜多見駅高架下側道 両側

この歩道の狭さと、特に、なかつか歯科の曲がっている所、喜多見エッソカーサービスの前など、大変狭く、かつ、スピードを出している車、自転車と歩行者が入り混じっている事は、即解決しないと事故が起きてしまう可能性が高いのは目に見えているので、危険個所と認定できるだろう。

2 歩行者の特性

高齢者が多く、バギーを引いた赤ちゃんずれの親子も多い。その一方で、自転車が歩道をスピードを出して走っている。

大変特徴的で、かつ危険だと感じる。

3 業務用スーパー

狛江市と世田谷区の境にある中で、特に業務用スーパーの前は、民有地の為、歩行スペースに野菜や果物があっても何も言えないところなど、歩行者の安全確保が出来ているかといえ、危険な状態といえる。

4 高架両側の側道は、世田谷区の側道は広く、狛江市は狭い

これは、大変構造上に良くない。道路の付け替えなどして、まっすぐするなど検討の必要性がある。

5 七差路交差点

元保育園の場所など、3・4・16号線の拡幅時に、広場など人の通行と憩いの場が出来ると良いとの話は、大変良いと思う。

6 その他

交通の一極集中を避けるため、喜多見駅狛江市側改札口設置は、大変よい安全対策案であると思うが、同時に、にぎわいなどの総合的なまちづくり案が必要だと思われる。

以上